

熱中症にご注意ください

熱中症とは、高温環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調節機能が破綻するなどして発症する障がいの総称です。

筋肉のけいれん、倦怠感、頭痛、頻脈や尿量の減少など脱水が考えられる状態、意識障害などの中枢神経障害が見られた場合はすみやかな対処が必要です。

熱中症予防策

熱中症は、ちょっとした注意で防ぐことができます。

体調を整える

睡眠不足や風邪気みなど、体調の悪いときは暑い日中の外出や運動は控えましょう。

こまめに水分補給

特に夏場は汗と一緒に塩分が失われます。水分と一緒に塩分を取りましょう。スポーツドリンクなどを飲むのがオススメです。

室内での適切な温度設定

室内温度が28℃を超えないように適切な温度設定にしましょう。

また、エアコンの設定温度が低く(24℃を下回る)、外気温と室温の差が大きいと出入りする際に体の負担になります。

もし、熱中症になってしまったら？

- ・ 涼しい日陰やクーラーの効いた室内などに移動しましょう
- ・ 衣類をゆるめて休みましょう
- ・ 体を冷やしましょう

氷や冷たい水でぬらしたタオルを手足に当てて体を冷やしましょう。氷や冷たい水がない場合は、タオルやうちわ、衣服などを使ってあおぎ、風を送って冷やしましょう。

水分の補給をしましょう

水分だけでなく、汗によって失われた塩分も補給する必要があります。スポーツドリンクなどを少しずつ何回にも分けて補給しましょう。

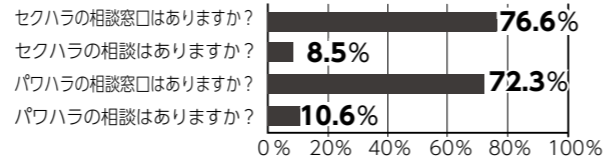
無理をせず、症状が出た時や少しでも異変を感じた時は医療機関に受診しましょう。

☎ 高島市民病院 ☎ (36) 0220 (代表)

ハラスメントのない職場を目指して

ハラスメントは、いろいろな場面での『嫌がらせ、いじめ』を言います。その種類は様々ですが、他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与えることを指します。

【市内企業対象アンケート】



ハラスメント(セクハラやパワハラ)の相談窓口のある企業・・・ **70%以上**

実際に相談のあった企業・・・ **10%前後**

被害にあっているけど相談窓口があることを知らなかったり、相談しにくかったりするために表に出てきていない潜在的な被害があるのかもしれない。

予防するためには？

- 組織のトップがハラスメントは職場からなくすべきであることを明確に示す。
- 就業規則に関係規定を設ける、労使協定を締結し、予防・解決についての方針やガイドラインを作成する。
- 従業員アンケートや研修を実施する。
- 組織の方針や取組について周知・啓発を実施する。

解決するためには？

- 企業内・外に相談窓口を設置する、職場の対応責任者を決める。
- 外部専門家と連携する。
- 行為者に対する再発防止研修を行う。

ハラスメントは労働者の尊厳や人格を傷つける許されない行為であるとともに、職場環境を悪化させるものです。働きやすい職場環境づくりのために、ハラスメントの防止に取り組みしましょう。

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526

生ごみ処理機利用者の声

高島市では、資源循環型社会の形成を目指し、ごみの資源化の推進に取り組んでいます。生ごみ処理機をご利用いただいた事業所等の声をアンケートや報告をもとにご紹介します。

※画像はイメージです。

事業所A
処理後の生成物を堆肥として活用できることから、リサイクルにもつながる。また生ごみを自然に返すことで生ごみ減量の取り組みにつながっている。

株式会社 福月
処理後の生成物を堆肥として活用できることから、園で使用することにより、環境への負荷軽減ができるようになった。

株式会社 杉橋興産株式会社
生ごみ以外のごみについても、削減意識が強くなった。

事業所B
処理機の利用により、ごみの量が大幅に減少し、衛生的にも良くなった。



事業所D
週2回の可燃ごみの量が減少し、作業効率も良くなった。

事業所C
1日に使用するごみ袋の数が減った。(1か月あたり約280kg)

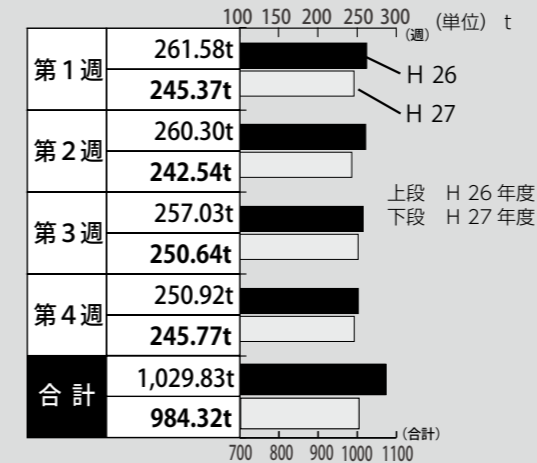
今後の市の取り組みの参考とするため、皆さんの取り組みを、環境政策課までメールまたはファックスでお寄せください。生ごみの資源化や減量化に引き続きご協力をお願いします。

<夏季の生ごみ減量化にご協力ください>

- ・ 生ごみは水のかからないところに置き、調理くずを濡らさないようにしましょう。
- ・ 三角コーナーの野菜くずは水切りネットに入れ、仕上げにひとしぼりしてから捨てましょう。
- ・ 生ごみ処理機などを使って生ごみを家庭で処理するようにしましょう。

6月の燃やせるごみの収集量

市民の皆様のご理解とご協力により、環境センターに収集される「燃やせるごみ」が前年度同月に対して**45.51t (4.4%)**減少しました。引き続き、ごみの分別や減量にご協力ください。



7月15日までの補助金申請受付状況

- 電気式生ごみ処理機…………… **792**件
- コンポスト…………… **399**件
- 事業所用(大型)生ごみ処理機… **11**件